

山形の母なる川

vol.24

平成23年 1月25日

最上川



—新連載—

倫理経営企業の素顔

第1回 天童市倫理法人会 株式会社アイ・タックル

目次

鈴木隆一会長 挨拶……………2	山形市10周年記念式典……………10	平成22年秋の褒章受章……………15
桜井 仁普及拡大委員長 挨拶……………3	単会トピックス……………11	倫理経営講演会のご案内……………15
第6回会員大会……………4	MS川柳……………13	奈良崎信良氏を偲んで……………16
倫理経営企業の素顔(第1回)……………6	倫理を学んで……………14	全国行事から……………16
		編集後記……………16



社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

「打てば響く」は縁のはじまり



山形県倫理法人会 会長
鈴木 隆一

希望は心の太陽である

山形県倫理法人会の会員みなさん、明けましておめでとうございます。

平成23年が日本と世界の人々にとって希望に満ちた明るい年になりますようにお祈り申し上げます。その願いを叶えるため、私たちが家庭の、会社の、地域の「希望の源」となりましょう。

「打てば響く」は縁のはじまり

私たちが希望の源となるには何をすればよいのでしょうか？私は①朝の達人、②セブンアクト、そして③即行、この三つを実践し続けたいと思います。特に即行は新たな課題としてしっかり取り組みます。

昨年12月14日、庄内町の響ホールで酒田市・鶴岡市・新庄最上の三つの倫理法人会が合同で特別講演会を開催し623名が聴講しました。その際、講師の上甲晃氏は「打てば響くは縁のはじまり」と述べられました。

太鼓を叩けばドンと音が出ます。鐘をつけばゴーンと鳴り響きます。誰かに出会い、何かに出合って感動したらすぐに行動しなさい、そうすれば新しい縁が生まれ人生が拓けてきますよ、と言う意味です。出会ったら（出合ったら）すぐする、つまり「即行」が大事だということです。

セブンアクトの達人

2月1日から3日まで、静岡県御殿場市にある倫理研究所富士高原研修所において「経営者倫理セミナー」が開催され、山形県倫理法人会から二十五名が参加します。このセミナーはセブンアクト（日常の基本動作）やチームワーク、先祖や親の恩愛、そして万人幸福の葉について深く学び、感得するものです。セミナーに参加しても人は決して急に変わるものではありません。この三日間のセミナーで変わろうと決意し、変わるチャンスをおいて帰ってくるのです。参加者がセミナーから戻られてから、自己変革の努力を継続されますよう願っています。

「倫講」スタート

2月21日の山形市を皮切りに6月29日の酒

田市まで県内11単位倫理法人会主催の「倫理経営講演会」が開催されます。年間で最大の行事であるこの倫講がぜひ感動と出会いの場となりますようご祈念申し上げます。自己革新を決意する契機、倫理経営を目指す契機、倫理法人会入会の契機となるよう、どうぞ魂をこめて入念に準備してください。ご成功をお祈り申し上げます。

喜びを伝える普及活動

倫理を学び実践していると毎日うれしいことがたくさんあります。この喜びを自分の大切な人に伝えることは、伝えた本人にさらに大きな喜びをもたらすと同時に、新たな人が倫理を実践して幸せになるチャンスをつかみ、倫理の輪が広がることで地域が良くなり日本が救われる。これが本物の普及活動だと思います。日本創生への道が私たちの足元から始まっています。

より多くの人に参加する普及活動

私の願いは、もっと多くの人々が普及活動を実践することです。今まで普及活動をしたことがない方や過去に行なって失敗してそれっきりの方、入会して三ヶ月の方にも活動に加わっていただきたい。県内の各倫理法人会がその実現のための方法、仕組みを考え一斉に実行するならば、きっとこの山形県から新しい倫理運動が始まることでしょう。

各単会に見られる 普及活動のアイデア



普及拡大委員長

桜井 仁

今年度の県レベルでの普及拡大委員会の基本方針は「楽しい普及の実践」、その具体的活動として、

- ① 毎月純増1社、カメラ方式でまめに活動して確実に普及拡大をする
- ② 新普及システムを運用してより多くの会員に普及活動に参加してもらい、参加社数の見える化を実現する
- ③ 資格割れ単会の復帰の為に計画を立案し実行する

等が掲げられ、それに添ったかたちで各単会が活動しております。そして、普及目標「平成23年8月3日、会員数1450社必達」が今年度の山形県としての数値目標となります。

各単会、毎月中頃から後半に普及期間を設けていただいておりますが、目標に達する単会は少なく、苦戦の様相を呈しています。新普及システムの月次報告を拝見していると、どうやら毎月決まった役員だけが動いている状況のようでありま

す。多くの会員に参加をいただき、特に会長をはじめ3役（4役）のお力添えを頂いて、毎月一週間ほど、急がず慌てずゆとりを持って前向きな普及を継続すれば、今後ますます「楽しい普及の実践」に近づいていけると思います。

各単会の普及活動を把握するまでには到っておりませんが、天童の100社復帰の際は、当初なかなか数字は上がらなかったのですが、以前からの職場の教養を使った丁寧な種まきがやがて芽生えて収穫につながったようでありました。倫理活動を言葉で説明、あるいは理解を求めても、余程の興味をそそるか、また、人的繋がりが深い場合は対話も可能ですが、それ以外はなかなか寄せ付けてくれません。入会のアプローチは職場の教養を紹介したり、いかにしてモーニングセミナーへの参加を掻き立てられるかだと思います。

職場の教養配布もめりはりが必要で、毎月1冊を長期間配ることも広報になります。数冊を3カ月期間限定で読んでもらうことをお願いしてお配りし、翌月からスパッと止める。職場の教養の良さが染みついた頃に届かなくなると逆に欲しくなる事なども有効な手立てで一考の価値があると指導されました。

ある単会では会長さんの主導のもとまだあせらないで良いとか、役員会でもっと認識を深めてもらおう等と、全面的に動いて下さっているとの報告も有り力強く感じているところです。何といっても会全体で裾野を広くした丁寧な普及でないとは長期間に亘る穏やかな上昇に繋がりません。是

非、3役（4役）の先導的活動が不可欠であるのご理解下さい。

そして、普及拡大の事務所、つまり作戦会議をする場所が必要であり、多忙な中での時間調整となりますので、集合時間をきちんと守り、止むを得ない時の連絡の徹底等、普及仲間の事情等を配慮する事も普及活動では大切であります。

普及は自己革新にもなります。打ちのめされた時の落ち込みから立ち向かう時の気力は半端なものではないはずですが、気持ちの持ち方ひとつで勇気も湧くものです。

1カ月前までお誘いをしていた方から本日入会希望の連絡をいただいて熱さが体に沁みているところです。素直にありがとうと言える自分に心地よさを覚えていきます。まさに自己革新です。

「普及とは、倫理の実践の体験を感動と共に伝えること。相手の方の成長を願い、明るく実践しよう」

鈴木隆一会長の心の声が相手の琴線に触れた時、また一人倫友の誕生です。

また、モットーを会員に常に知らしめる事も拡大に繋がります。寒河江市では、「倫理は仲間づくり、目指せ175社」をモットーに普及拡大に邁進しております。

平成23年10月、山形県「設立20周年記念式典」と「1500社達成祝賀会」を丸山敏秋理事長ご出席のもと挙行する。これを弾みに山形県倫理法人会の更なる健全な繁栄が実現出来るように願って止みません。

山形県倫理法人会

第6回会員大会

去る10月14日、ホテル古窯にて山市主催による会員大会が挙行されました。単会持ち回りで毎年グレードアップし続けている会員大会は今年で6回目です。

鈴木会長が、この大会が荒木方面長ご臨席のもと、大勢の会員の皆さまと共に盛大に開催できることを喜び、そして、普及の推進、運営の強化、教育の徹底を活動の3本柱として、県及び県内11単会が熱い情熱を持って今年度をスタートしたことを感謝したい、山形県から全国へ新しい倫理運動を推進していくことが必ずできると確信している、と挨拶されました。



荒木方面長からは、これからも全国のお手本となる会をつくり上げていただきたという大きな期待と、倫理研究所が目指す「道義国家日本を創生していこう」という理想を共に追い求めていきましよう、という激励のお言葉を頂きました。

22年度の事業報告、決算報告、続

いて23年度事業計画、事業予算の説明、委員会及び単会活動方針発表で大会を滞りなく終了いたしました。

当大会を記念して会場超満員の中、上甲晃氏から「日本人の志」というテーマで素晴らしい講演をしていただきました。さらに懇親会は華々しく賑やかに明るく元気に開催され、山市倫理法人会のご尽力を讃えつつ閉会となりました。

記念講演 抄録

上甲氏が皆さんにお伝えしたかったこと



▼松下幸之助は、「根源の力」という宇宙法則を信じていた。「根源の力」は物事を活かそう、活かそうと働いているのだから、その力に素直に従えば物事は全てうまくいくようになる。

沈みは間違いであり真理に従えば必ずうまくいく。神様は全て受け入れるからすなおの名人。人生の殆どは運命。同じ運命なら「はい喜んで」と受け入れよ。そうすれば運命は拓

いて行く。松下幸之助と純粋倫理はその点で共通している。

▼志の第一条件は、自分が結果を見届けられないことに対して本気になれること。それが見届けられないにしても、しっかりとやっておいてあげたら必ず子供や孫やひ孫の時代に生きる人たちがどんなに喜んでくれるだろうと信じて、我が事のように力を注いでいけること。

▼戦後教育で否定された事は3つ。第1に日本人としての誇りを持つような歴史を教えるてはいけない。2番目として道徳と倫理を教えない。人間を超える偉大な存在に対する畏敬の念を持たせてはいけない。この3つを教えなければ人間は必ず精神的に墮落する。お金儲けにしか目の色を変えない。自分のことしか考えない。必ず精神的に骨抜きになる。

▼宗教教育と道徳教育と歴史教育をしなかったら、日本人としての原点が持てない。今起きている事はまさにそういう教育の結果。社会で起きているあらゆる問題は、精神の問題だと思ふ。今まさに立て直さなければならぬのは精神。日本人の精神を立て直さなければどんな経済政策をしても、それらは対症療法であって根本治療ではないので駄目だ。

▼人生は自分の思い以上の結果を出しなさい。どういう思いを持って生きるかが結果を創る。どういう構えで人生を生きるべきか。高く思う、大きく思う、が大事。人間は願えば叶う。思えば成る。求めれば出会う。あなたに本当に志があり、求める気持ちがあれば万事万物全てが我が師。万事研修である。

▼マザーテレサへ問うたこと。どうしてこの乞食を抱きしめられるのですか。マザーテレサは言った。「あの人たちは乞食ではありません。あの人たちはイエスキリストです。イエスキリストはあなたが本気かどうか、あなたが本物かどうかを確かめるためにあなたの一番受け入れにくい姿でああなたの前に現れるのです。だから私はそのイエスキリストを抱きしめているのです。」

▼本当の出会いが苦しくつらい時。だから逆境はつらいありがたいこと。はい喜んで受け入れる心が大切。自分にとって都合の悪いことや嫌な事は受け入れられない。受け入れられないことは全て障害物ではない。「人生に無駄な人はひとりもない。人生に無駄な経験はひとつもない」のであらゆる経験が人生に生きてくる。

▼「好景気よし。不景気なおよし」。大胆な改革のためには逆境は最高のチャンス。「不

景気は好景気の時出来なかったことをやるチャンス」。「一番にやるのは反省」。好景気に反省は無い。「不景気の時刈り取りの営業は駄目。植え込む営業をしないとイケない」今植え込むと3年後、5年後に大きな収穫になる手を打つのが植え込む営業。不景気は本当のセールスマンである証を立てる最高のチャンス。

▼不景気は底力を養うチャンス。今こそ底力を。どんな会社もやっていないような特別なことをする前に、新しいことをする前に、この会社もやっている当たり前のことをごの会社よりも徹底してやりなさい。人に名前を呼ばれてハイの返事をするのは当たり前のこと。倫理法人会では当たり前のこと。でも世間一般では極めて稀な事。68歳になって講演で人に呼ばれてハイと返事したら「たいしたもんじゃない」。そういうことが出来ていなくて逆に難しいことをやろうとしている。だから無理があるのだ。

▼挨拶をしましょう。履物を揃えましょう。腰骨を立てましょう。なぜか幼児はできる。新入社員もできるが、社長ができないのは何故か。素直でないから。社長から新入社員までハイと言えたら会社の空気が変わる。当たり前をしつかりやること。何をする時もきちんとする癖をつけていけば必ずと仕事もやります。



た1時間40分は「せめて自分は」の気持ちで燃えた623名の灯火を地域に解き放った。折しもこの日は丸山敏雄創始者の命日であった。

上甲晃氏特別講演会

12月14日、庄内町の響ホールで623名が聴講しました。

「とうとう路上駐車がなくなってしまいました!」駐車場班から緊急連絡が届いたのは開演の15分前。同じ頃、受付係からは「来場者の波が止まず、身震いが止まらない」との興奮の声が……。502人の固定席の他に用意した80席の特設パイプ椅子も続々と埋まり、開演時間を迎えても、来場者の波は止まない。とうとう立ち見が後方に溢れていった。「聴いてもらいたい」の気持ちで呼びかけた三単会の真心がこの奇跡を生んだ。動員ではあれだけの空気は生まれなかったであろう。会場と講師の熱気にビデオ撮影担当は意識が飛んでしまったという。上甲晃先生自身「溢れんばかりの観客に興奮し熱が入った」と後に漏らされた1時間40分は「せめて自分は」の気持ちで燃えた623名の灯火を地域に解き放った。折しもこの日は丸山敏雄創始者の命日であった。

倫理経営企業の素顔

第1回

天童市倫理法人会 株式会社アイ・タツクル

「もったいないを創造する」をスローガンに、トナーリサイクル、BDF(バイオディーゼルフューエル)精製、トマト栽培を展開する株式会社アイ・タツクル様を訪問いたしました。水沢正志社長は、医薬品関係のサラリーマンを経て若くして独立、大変な苦難を経て今の会社アイ・タツクルを2000年に創業。現在10期目を迎えておられます。天童市の専任幹事として五十嵐会長を常に支え、先頃は100社復帰を達成するなど会の



発展に欠かせない存在感を發揮。また、掃除に学ぶ会の世話人であり、中小企業家同友会の経営指針作成セミナーを受講され、純粋倫理をベースにしながらそれらの特長をミックスした会社経営をされておられます。さらにはNPO「環境と食農研究会」を通して環境出前教室とマイ箸運動を展開するなど、とにかくECOに拘っている会社です。

掃除は経営の原点

●トイレ掃除が原点

私はアイ・タツクル創業以前のサラリーマン時代からトイレ掃除に拘ってきました。アイ・タツクルができた最初の頃は私だけがトイレ掃除をしておりますが、3年経った頃に、水沢だけに掃除させるのは申し訳ない



毎日磨き続けて10年!

と社員さんが手伝ってくれるようになり、それから社員さんの方に交替でお願いしています。

●日本一綺麗な工場

トナーリサイクルの会社は全国に40社くらいあります。一通り工場見学をしてきました



が、その中で工場内が一番綺麗なのは当社でした。トナーは微粉末で飛散しやすいので、作業をしているとどうしても床が真黒になります。作業場の綺麗さを維持していくには皆が徹底して掃除していくしかありません。部材を納めるトナーメーカーさんが当社に来て一番びっくりされるのが作業場の綺麗さです。どうやったらここまで綺麗にできるの? とよく言われます。別にコツはありません。徹底して朝昼晩と掃除するぐらいしかありません。毎日毎日、棚の上、ダクトの上など見えない所まできちんと雑巾で拭きます。

●綺麗にするには言い続けるしか無い

最初とはかく工場内を綺麗にしようと言いつづけてきました。時には指で埃をなぞってチェックして口うるさく指導しました。掃除については言い続けるしか無いです。また、5S名人制度のような仕組み作りがうまくいききました。例えば新入社員にとっては、毎日きちんと掃除をしていて、とても綺麗な工場



まるでアートのような下駄箱

に入社すれば、掃除と綺麗な工場が当たり前のことになる。逆に汚い会社に入社すればそれが当たり前になる。会社を綺麗にすることが自然と社風につながっていきます。

元気一杯の活力朝礼

●準備が徹底された活力朝礼

朝8時25分。2階食堂に集合して全体朝礼がスタートしました。社員さん達が入室すると、先に来ていた社員さん達と笑顔で握手しつつ挨拶を交わし、口の字の形に並んでいきます。会場内に何十人もの「おはようございます！」の声が響き渡ります。



進行担当が予鈴と「開始一分前です。姿勢を正してください」で合図。暫しの沈黙の後ベルが鳴り、朝礼が始まりました。朝の挨拶

担当の名前が呼ばれ、元気な「ハイッ」の返事の後に「皆さん！」と声がけし、全員で「おはようございます！」。

続いて、各部署からの連絡事項。月次及び前日の生産状況、販売状況、売上及び粗利目標と達成率、お得意先様からのクレーム及び感謝の報告が述べられていきます。事前準備

が徹底されていて簡潔明瞭そのものです。そして委員会連絡事項。その他の連絡事項、水沢社長挨拶と続きました。

「職場の教養」



行動規範を斉唱

輪読が始まりました。全員がテキストを両手で捧げ持ち、進行担当が輪読担当を指名していくパターンで進みました。今日の心がけを全員で斉唱。読後の感想をお願いしますというところで、当番から感想と決意表明がありました。社員心得10ヶ条（行

動規範）斉唱。明日の当番発表。終鈴、解散となりました。

●活力朝礼には続きがあった

全体朝礼が終わり、次は職場に戻って部門ごとの朝礼です。ひとりずつ元気に挨拶して、「本日はくをします！」とあらかじめ用意していた一日の行動を発表していきます。その後、挨拶とハイの実習を行いました。

「以上で挨拶実習を終わります、ありがとうございました」



部門朝礼でハイの実習中

「ありがとうございました」に一齐に「ありがとうございます！」「今日も一日よろしくお願ひします」「よろしくお願ひします！」「一同解散！」に「ハイッ！」と部屋中に元気な声が響き渡りました。

部門ごとの朝礼が終わると、すぐにスタッフ同士の朝礼とミーティングが始まりました。

●3段階の朝礼を毎日実施

全体、部門、グループの3段階朝礼を毎日実施しています。それぞれ中身が違います。部門長に部門ミーティングはある程度任せられています。各部門で行う朝礼はやりかたがバラバラですが、良いところをお互いが真似をして取り入れていくようにしています。

●朝礼に期待している効果とは？

活力朝礼ということで、プライベートから仕事の切り替えに朝礼を利用しています。朝礼でスイッチを入れ替える。だから活力ある朝礼で終わりたい。だからとした朝礼にしない。もっともっと元気がある朝礼にしたいと考えています。

●気がかりは活力朝礼の後

朝礼だけ元気良くて、仕事でならだらしとしてしまうことが過去にありました。今は大分改善されましたが、これからも、朝礼が終わった後に、引き続きテキパキと仕事が進む工夫や、変化を与えてマンネリを打破する仕掛けをしていきたいと思えます。月1回くらいずつ内容を変えて行った方が良いと思ひ、実は朝礼の内容で今年から変えた部分があります。

●斉唱と落とし込み



全体朝礼で斉唱すること、それが社員さんへの落とし込みになっていくかは別の問題です。社員心得10ヶ条（行動規範）を毎日斉唱したか



らといて、それが社員さんの行動に落とし込まれて

いるか。実はこのところが成っていません。去年の暮れからクレドにしても行動規範にしても私の解説を月に2、3回入れていきます。私自身がつくった理念ですので、どういふ思いでそれらをつくったのか、どういふことを言わんとしているのか。まずは基本スローガンの説明を毎日1項目ずつ行っています。行動規範ももう一回話していこうと思っています。

●理念を血肉化するために

同じことを何回も繰り返すことが大事なのかなど思っています。1回聞いたという人がどれだけ理解しているのか。理念を血肉化するために、社員さんひとりひとりが納得するまで何回も言い続けないと駄目なのかと思ひ、話し始めたところです。

実はただ斉唱するだけで、それでお終いなところを2年ほどやってきたので。やってみて解ったことですが、何回言ってもこれだよというのが無いのかもしれない。

●委員会活動は雑用ではない

●4つの委員会活動

当社には共育向上委員会、掃除に学ぶ委員

会、IDAMASUI委員会、福利厚生委員会の4つの委員会があります。

共育向上委員会は皆で一体になって倫理観を磨くためのツールとして「活力朝礼」を活用しています。

会社ぐるみで参加している掃除に学ぶ会で当社は世話人になっており、世話人は雑用係のため、目的のトイレ掃除ができません。そこで掃除に学ぶ委員会が中心となってトイレ掃除活動をしています。掃除に学ぶ会は、入社したら2回目まで強制出席で、3回目からは自主的参加になっています。掃除については「凡事徹底」で当たり前のことを当たり前にしていくことが目標です。

IDAMASUI委員会は「いだますいの精神」を通して地球の環境に貢献することを目指しています。

福利厚生委員会は社員の「コミュニケーション向上」のために様々な催しを企画、運営しています。

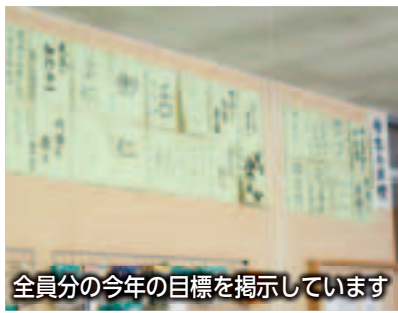
●委員会活動を始めようとしたきっかけ

中小企業家同友会の経営指針作成セミナーで、ある企業さまが委員会活動について報告されたのを聴きしてこれは良いとなり、中身は違いますがすぐに委員会を立ち上げました。

初年度は各委員会に年間予算5万円を与えて強制的に、あやれ、こやれと口うるさくスタートしました。掃除に学ぶ委員会が牽引してくれて、工業団地の清掃活動を2回行

い、掃除道具と飲み物等で予算を使い切りしました。しかし、他の3委員会は困惑して何を
して良いかわからず、予算を1円も使いませ
んでした。

やらされ感の中で何もやらなかったです
し、何もしていなかったということです。そ
の原因は私です。委員会は何のためという
ところをきちっと説明せずに、勝手に社長が
創って、勝手に社長がやっているのだとい
うところに問題があったのです。



全員分の今年の目標を掲示しています

そこで2年目からは、私は委員会はい
う趣旨でこういう風にして欲しい、私は一切
関与しないから是非皆で自立してやってい
て欲しい、私は楽しくやろうを目的に委員
会活動をやってみて
欲しいと皆に投げた
のです。予算だけ渡
して、参加も強制で
はなく立候補制にし
て自主運営にしまし
た。それでようやく
3委員会が動きだし
て5年目になります。

●任せたのが良かった

社員さんは委員会活動を業務以外の雑用と
いう感覚で捉えていたのではないでしょ
うか。余計な仕事みたいに。だから何もしな
かった。委員会活動の意義は何なのかとい
うところ、それをする事によって皆が期待

していること、私がそういう話をしたところ
から少しずつ動き始めました。

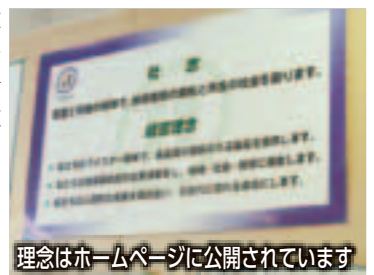
●何時に起きてますか？

●今、4時です。

今は起きるのが遅くなりまして4時起床で
す。実は「朝の黄金の時間」の活用の仕方が
甘かったのかなという気がして、家で
メールチェックをしてから、社員さんの出
勤に合わせて5時半とかゆっくり来るよう
になりました。自宅からすぐ会社に行っ
ると、目につくことが多すぎて自分の業務が
できないのです。鍵開けて、暖房つけて、神
棚を掃除して、さらに気づいた余計なところ
を掃除してみたりとあっという間に時間が過
ぎてしまいます。朝から鍵閉まってないとか
何でこんなところにゴミが捨ててあるのと
か、朝からイライラモードでは精神的にも良
くありません。

●会社を朝型にしよう

神棚を掃除していると、社員さんが6時頃
からぼつぼつと来ます。6時半には社員の半
分は会社に来ています。幹部は全員来ていま
すし、営業も来ています。そして6時半〜7
時半は皆はがっちり自分の仕事をします。こ
れは会社を朝型にしようと言っています。こ
きからです。でも問題点もあります。朝型に
した分、夜は早く帰れと言っています。早く
帰らない社員さんを何とかしたいというのが
現状の課題です。



理念はホームページに公開されています

●事では全焼。

今まではかなりのワンマンで、何から何ま
で全部自分でして、外部にもほとんど積極的
に動いてきましたが、振り返ってみれば、こ
の2年間、いろんな人にご迷惑をかけてきた
のだと思います。とにかく仕事に追われてい
た2年間であったと思うのです。その結果が
火事という状況になったのかなと思うのです。
そんな苦難の中、一番勇気をいただいたのが
山下です。常務取締役で彼が入社したのが
11月8日から。彼が来て社内が変わり活気が
出ました。苦難が良い方向に変わりました。

新しい人材を新卒採用して社風を定着させ
て教育していくという、新卒主義に方向転換
をしました。来年の新卒で内定者が5名決
まっています。彼らには週1〜2回アルバイト
で来てもらい、またメールでバンバン課題
を与えて社風を叩きこんでいます。再来年の
山大卒業生の就職活動説明会にも行って来た
ところです。こんなところにも山下が動いて
くれています。山下には感謝しております。

●昨年は大変革の年

昨年は大変革の年
でした。これまで右肩
上がりの成長を続けて
きたのが、昨年は初の
売落。何よりも多額の
設備投資をした部署を

山形市倫理法人会

10周年記念式典について

山形市倫理法人会 広報委員長 荒井 照雄

平成22年12月7日(火)ホテルメトロポリタン山形に於いて、山形市倫理法人会の設立10周年記念式典を開催いたしました。

柴田津與志会長のリーダーシップのもと10周年記念式典実行委員会が編成され、委員長に佐々木吉嗣副会長(式典・懇親会も担当)、荒井捷夫副会長は記念講演の準備、記念誌発行は大風茂吉副会長を軸に進行することに決定。



当日の式典には、ご来賓として、山形市長市川昭男氏、山形市議会議長齋藤淳一氏、山形商工会議所舟山政紘氏、(社)倫理研究所北海道・東北方面副方

面長川又久萬氏、山形県倫理法人会会長鈴木隆一氏のご臨席を戴き代表の方から、ご祝辞を賜りました。

山形市長、市議会議長のご祝辞を頂戴した後、鈴木会長は、私たち一人一人が良き個人、良き家庭人、良き職場人、良き地域人、良き地球人になろうと純粹倫理の実践をしながら、個々の目標を統合した最終目標は、日本を創造的に再生させることであると話され、自ら、朝の達人になろうと呼びかけられました。式辞に立たれた、川又副方面長は、私たちの生活法則である倫理を基底にした経営、すなわち倫理経営を推進し、「敬と愛と感謝の経営道」を実践することが肝要であるとエールを頂きました。

記念講演は、テーマ「奇跡は自分で起こす」として、講師に国際コミュニケーション学会名誉会長、鈴木秀子氏をお迎えし、結びに自分の奥様の名前を呼んで、愛していると大きな声で言うてくださいと、最前列に座っておられた県倫理法人会会長鈴木隆一氏を指名。「ハイ」と応じ、満員の聴衆に向き直るや、破顔一笑、「靖子、愛しているよ!!」と頬を紅潮させながら叫ばれました。倫理は全て受けきることであることを率先垂範して示され



た場面に感動。10周年記念誌部会は私たち広報委員会と朝礼委員会メンバーが力を得て完成させられました。この場を拝借し、改めて

て御礼を申し上げます。節目にふさわしい歴代会長対談では、山形県倫理法人会誕生に至る経緯や、山形市倫理法人会設立のエピソードが盛り込まれています。今、伺っておかなければいけない貴重なお話の数々でした。ぜひ、倫理の皆さんにもご一読いただければ幸いです。普及は宝という倫理の真髄に触れることができます。祝賀会は美味しい食事と倫理の皆さんと楽しく懇親することができたことをご報告して、筆を置きます。

単会トピックス

「新入会オリエンテーション」

寒河江市倫理法人会 広報委員長 海野 晋



寒河江でも初の試み、入会されたばかりの方や今まであまり積極的でなかった会員向けのオリエンテーションを行いました。講師に川又副方面長を迎え、前半は創始者丸山敏雄氏の生い立ちや倫理運動を築くことになったきっかけや倫理法人会の成り立ちを教えてくださいました。また、後半は倫理法人会の活動内容や何のためにこの運動を行っているのか、会費は何に使われているのかなども教えていただきました。そして、なぜ倫理法人会が必要なのか、苦難から福を見つけるためにはどうするべきかなどを実際に体験した会員の話を交えながら、短いながらも充実した二時間となったのでした。新入会会員の方々も、なぜ会長をはじめとする役員が一生懸命に活動しているかを

理解していただいた様子で、これから更に倫理法人会の活動に興味を持たれ積極的に参加していただけるのではないかと、役員一同期待したところです。また、折をみて開催したいですね。

「上山市倫理法人会 芋煮会に参加して」

上山市倫理法人会 山川 雅弘



11月3日（水）
上山市権現堂の「幸ファーム」において、少し遅めの芋煮会が開催されました。あいにく小雨が降る中での開催となりましたが、田島会長をはじめとする上山市倫理法人会のメンバーと家族が協力し合いながら、また、専任幹事谷江さんのご協力により、今ではとても貴重なレコードプレーヤーを持ってきていただき、昭和の匂いが満載のBGMが鳴響く中、和やかな雰囲気の中で娘二人と三人とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。特に、この度の会場が牧場という事で、当然、馬が数頭おりまして、娘達は餌をあげたり、触ったり普段では経験の出来

ない貴重な体験をさせて頂きまして、とても喜んでおりました。また、私も同様に馬とこんなに深く触れ合ったのは初めての事でしたので、とても良い体験をさせて頂きました。そして、この度お世話になりました、幸ファームの岡崎さんには、酒を酌み交わしながら馬について、また、他方に亘り色々な事を教えていただき誠にありがとうございました。

「やませ蔵美術館」での初めての家族芋煮会

長井市倫理法人会 実行委員長 高石一夫



長井市倫理法人会会員であります、長井市を代表する伝統ある『やませ蔵美術館』での初めての家族芋煮会を十月二十九日、三十五名の参加者（うち八夫妻、プラス一孫）で楽しく和気藹々と開催することが出来ました。夜の紅葉のライトアップはともきれいでした。

日頃、ご迷惑をかけています奥様たちに楽しんでいただくとうと会員総出で準備。竹田館長のやませ蔵の歴史話をしていたいたり、那須専任幹事の歌謡ショー、参加者全

員での三部合唱は、昔懐かしい「もみじ」心温まる一時でした。小島勤県副会長、ご夫婦、相田会長、和田会長の参加も頂きありがとうございます。また楽しい企画を考えますので楽しみにしてください。

鶴岡市倫理法人会ソフトバレー交流会

鶴岡市倫理法人会 副専任幹事 荻原 拓哉

去る10月29日(金)18:30より鶴岡市宝田体育館にて鶴岡市倫理法人会ソフトバレー交流会を開催いたしました。伊藤みよ子会長が呼びかけて実現したイベントでしたが、総勢12名のメンバーが集まりとても楽しくソフトバレーをしました。35歳から60歳の方まで職種や年齢の違う人が多く集まり競技をしましたので、最初はどうかと心配しておりましたが、思っていたよりもレベルが高く好評プレーが続出し大変盛り上がりました。参加された方々のモーニングセミナーとは違った意外な一面が見えて、とても楽しい時間を過ごしたのと同時に、会員の親睦がとても深まりとても有意義な時間を過ごせたと思います。競技をやっていて正直ここまでハードだとは思っていませんでしたので最後のほうはかなり疲れてしまい、怪我が少し心配でしたが、無事怪我人もなく最後までみんな楽しんでむことができて良かったです。会員の中には初め



格別でも盛り上がりました。

てやったソフトバレーにはまってしまい、次回開催を希望する方もおりました。当然、反省会も開催されたわけですが、気持ちの良い汗をかいた後にソフトバレーの話題で盛り上がりながら飲むお酒は

第二回酒田市倫友ゴルフコンペ開催レポート

酒田市倫理法人会 普及拡大委員長 佐藤 優

去る平成二十二年十月二十三日に酒田カントリークラブを会場に第一回酒田市倫友ゴルフコンペが開催されました。当日は晴天のうえに十月下旬とは思えない暖かな陽気のなか三十三名のゴルフファーが集まり、初代・倫友ゴルフ同好会菅原勝安会長による始球式の後、9パーティに分かれ腕自慢の皆様が優勝を目指し競い合いました。

酒田カントリークラブは日本海が望める丘陵のコースで自然や景色を楽しみながらプレーすることができます。初心者の方には手強いところもございますが、中級・上級者の方には最適なコースではないかと思



うか……。そんな過酷な環境のなか名誉ある初代優勝者になられたのは日下部俊治様でした。おめでとうございます。

今回のコンペは会員拡大の目的と倫友の交流を深める為におこなわれましたが、結果的にスポーツを通して倫理の学びに触れる一助にもなったのではないかと思われました。このような大会が第2回・3回と続いていくことを期待しております。

最後に運営にご協力いただきました幹事の皆様、そして酒田カントリークラブの皆様には心より感謝申し上げます、倫友ゴルフコンペ開催レポートとさせていただきます。

仙南倫理法人会との仙山文化交流会 in 巨理町

天童市倫理法人会 会長 五十嵐 慶三

天童市倫理法人会と仙南倫理法人会との仙山文化交流会が11月24日（水）夕方より、宮城県亘理町、「わたり温泉鳥の海」にて総勢32名、賑やかに開催されました。翌日には現地の観光案内を含め、会員の「あら浜」さんにて、活力朝礼の見学、名物「はらこ飯」に関する特別講話をお聞きしながら、美味しい昼食を腹一杯、頂いてまいりました。

こちらには名産の海産物が沢山あり、名取市にある閑上漁港の赤貝は日本一だそうです。

瓶詰め「赤貝の塩漬け」をご馳走になりました。ぶりっとした身の締り、柔らかい中にも弾力があって、しこしこした歯ごたえ、噛むほどに口の中一杯に、赤貝の味覚が広がってまいります。鮮度をそのまま、微妙な塩加減が、美味しさの秘密のようです。

天童市倫理法人会、この度、目出度く100社に復帰したということもあり、皆様方に感謝の言葉を述べて頂きながら、大いに盛り上がり、

次回の再会を楽しみにして交流会を過ごしてまいりました。



MS川柳

長井市倫理法人会

十七の知恵を学んで社が伸びる

三文の徳を重ねて長者様

輪読が業績アップの素になる

愛してるやっと伝えた倫理かな

深酒も目ざましいらぬ水曜日

広げよう幸福の和を倫理の和

朝やけの澄みわたる墓気持ちよい

俺に聞け倫理のことは妻に聞く

さあ行こう妻の寝息を聞きながら

朝目覚め期待ふくらむ体験談

起立して心に響く朝の歌

朝歌い夢限りなく突き進む

毎週の講師の話に心打たれ

時計より早く目がさめセミナーへ

輪読の読み方おぼえ「ハイ」と言う

朝早くメンバーとあえてひと安心

朝早く元気な顔元気な声で鳩もびっくり

今日の講話聞いて感動涙する

新庄最上倫理法人会

どう生きる何をすべきか問う倫理

なつこ 作

めをこすりりんりのおしえだいたいようぶ

モックン 作

エムエスはじぶんたすけるとつこうやく

エイソウ 作

朝一に聞いて得する いい話

跳ね起きて 時計を見ると まだ三時

各講話 聞いて新たな 力得る

新庄 倫太郎 作

倫理を学んで

毎回のようM Sに参加されている会員の中から。



山形市蔵王倫理法人会
女性委員長 外山 艶子

「出会いからより良きものへ」

中村恒一県相談役から昨年いただいた10年カレンダー。ベッド脇の壁に貼り、寝る前に今日一日を塗りつぶして1年が過ぎました。夫を亡くした2010年から始まるこのカレンダーで、自分の過ごし方、生き方を日々振り返り、明日に希望を託します。

倫理を学んで多くの人に出会い、励まされ、今楽しくM Sに参加しています。共に「良くなるよう」「良くしよう」と願う人たちが集う倫理法人会の居心地よさ。この会員の輪を拡げて行けば、世の中はもっと住みやすくなるでしょう。

「地球に生命が誕生して40億年。現在生存するどの生物も、みなすべてが等しい命の長

さでつながっている。」

40億年かけて作られた「私」が、40億年かけて生まれた「あなた」に出会い、さらにより良きものへと命を伸ばす……そんな心意気でM Sに臨んでいます。

「モーニングセミナーに出る！」とだけ決めて通い始めたころは、ポツンと一人での受講でした。続けるうちに声をかけあう仲間ができ、先輩方のすばらしさ優しさを直に感じています。もうひとつ心がけているのはセブンアクトの励行。気持ちよく当たり前のことをする、たったこれだけのことですが意識して行えば、不思議と自信が湧いてきます。

夫の仕事を継いで2年目。どんなやり方をすれば「外山艶子」という人間を有効に使えるか……？ 自分らしさを発揮できる方向を、今倫理を学びながら探っているところです。



米沢市倫理法人会
広報委員長 山村 靖子

「気恥ずかしさと日本人の美德」

昨年12月25日「伊達直人」を名乗る方から群馬県の児童相談所ヘラントセル10個が寄付

されたことを皮切りに、児童養護施設等への寄付が全国に広がった、いわゆる「タイガーマスク運動」である。なぜ、景気低迷が続く今、人間の良心に訴えるような現象が起きているのだろうか。日本には「恥」という文化があり、匿名性ゆえに善意が拡大しているのではないかという人もいる。

私は「倫理を学んで」から、人の意志というものは自分が思っているよりもずっと弱いことを知った。万人幸福の葉の17箇条はいずれも耳新しいことではない。親や先生からすべて学んだことである。親は子供が生まれると皆一様に聖人になる。言葉使いから丁寧に標準語になったりもする。私たちは子のために立派になった親から育てられ、途中までは親の理想どおりに育つ。しかし、いつしか親も元に戻り、子も親の教えを守らなくなってしまう。社会の中で「良い行い」が気恥ずかしくなり、誰も見ていなければ「悪い行い」をしても構わなくなる。

モーニングセミナーで毎回17箇条斉唱をし、講話を拝聴していると、倫理の実践によって幸福になることができるという確信を徐々に持つようになる。前述したタイガーマスク現象は、日頃の自分の行いから「良い行い」をすることが気恥ずかしいのかもしれない。それは日本人の美德でも何でもない。常

に「良い行い」ができるように、さらに倫理を学びたいと思う。



南陽市倫理法人会
幹事 篠沢 邦和

「早起きは……」

モーニングセミナーに参加の旨を社長から言われ、半信半疑の中、夜が明けない国道を運転しながら、時々出席して講師の話聞くだけならと安易な気持ちで参加しました。

挨拶から始まり姿勢を正して歌斉唱、輪読、そして講話と規律正しい進行の中で、会員の方々の真剣さと緊張感が伝わってきました。何回か出席していると、朝の勉強会も良いものだと思えてくる自分がありました。辛い経験をされた方、病を克服された方、五体満足から一変して障がい者になられた方などの、自分の体験を通して謙虚に前向きに何よりも「感謝」の気持ちを表される講話に感銘しております。

視野が狭ければ同じ景色しか見えませんが、視点を変えれば今までは異なる風景が見える気がします。いろんな方との出会いから元気を貰って一日のスタートができます。

また、和田会長から幹事をするようにと話があり、役員朝礼は三十分前集合である聞き、それを実行している皆さんのパワーには驚かされます。

モーニングセミナーは自分に与えられたチャンスだと思えます。そして何よりも、私にとって「早起きは三文の徳」そのものです。

テレビ番組欄 1行広告 (山形新聞朝刊)

12月	どんな挨拶が、人を動かすのだろう。	山形県倫理法人会 023-647-5882	毎月、第1・第3・第5火曜日に掲載しています。(ただし競馬開催案内がある場合は前後します)
1月	あたりまえを磨くと、どうなるのだろう。	山形県倫理法人会 023-647-5882	
2月	寒さに「ありがとう」と言っていますか。	山形県倫理法人会 023-647-5882	



ホームページ
リニューアル

山形 倫理
で
検索できます

鈴木会長の声が聞けます。

ラジオCM放送中

YBCラジオ

毎週火曜 6:30 朝だ！元気だ！6時半！
毎週水曜 7:30 グッドモーニング
毎週木曜 6:30 朝だ！元気だ！6時半！

VigoFM

毎週月～金曜 7:40 ウェザーインフォメーション

平成22年 秋の褒章

黄綬褒章 受章おめでとうございます。
謹んでお慶び申し上げます。

新庄最上倫理法人会
新庄信用金庫
理事長 井上洋一郎 様

山形市蔵王倫理法人会
トヨタカローラ山形株式会社
代表取締役社長 鈴木重行 様

※黄綬褒章は業務に精励し衆民の模範である方を褒章するものです。

倫理経営講演会

今年も県内11カ所で開催いたします。

- 2月21日(月) 山形市倫理法人会 ホテルメトロポリタン山形 (17:00～)
「トップを支える家庭力」+朝礼実演
- 3月11日(金) 山形市蔵王倫理法人会 パレスグランデール (17:30～)
「創生の経営道」+事業体験報告
- 3月24日(木) 上市市倫理法人会 月岡ホテル (18:30～)
「トップを支える家庭力」+朝礼実演
- 4月6日(水) 米沢市倫理法人会 東京第一ホテル米沢 (17:30～)
「トップを支える家庭力」+事業体験報告
- 4月12日(火) 天童市倫理法人会 ほほえみの宿滝の湯 (18:00～)
「トップを支える家庭力」+事業体験報告
- 4月20日(水) 鶴岡市倫理法人会 グランド・エル・サン (18:30～)
「トップを支える家庭力」+朝礼実演

5月以降の予定は次号に掲載いたします。

信良氏を偲んで

県相談役 中村 恒一



故奈良崎信良さん並びにご家族皆様方に心から哀悼の意を表します。

奈良崎さんとの出会いは、山形県準倫理法人会が正法人会に成ろうとしていた平成3年5月14日のMSで共に入会の紹介を受けた時のことでした。

大変まじめで実直な奈良崎さんは、平成7年度には幹事、8年から12年度迄の4年間は県副会長を歴任され、この間、米沢市への分法に尽力されました。さらに14年度には、天童市設立に際し進んで入会協力する姿に大変感動させられました。この間、毎週義兄であるイネツの伊藤社長さんとお二人で御出席されていたことは、私たちの模範であり誇りでもありました。15年度には寒河江市設立に関わり、山形市よりいち早く移籍され副会長に就任し寒河江市の基礎固めに尽くされ、又脆弱な天童を心配の無いものに導かれたご功績は大なるものがあります。本当に純粋倫理に磨きをかけられ心から愛して頂きました事に深甚なる敬意を表しお別れといたします。

丸山敏雄先生のそばに合祀されることになるとお聞きし慶びに耐えません。

結びに、奈良崎家並びに有限会社山形パッケージセンター様のご繁栄を心よりご祈念いたします。

合掌

1000社倶楽部

県会長 鈴木 隆一

昨年11月21日、23日までの3日間、南信州で開催された、「1000社倶楽部」に初めて出席いたしました。各都道府県会長の皆様と親しくなれたこと、特に首都圏、関東の方達と仲良くなることのできたのが最大の成果でした。

最初、馬籠宿という中山道の宿場町を見物。藤村記念館（島崎藤村生家跡）や川本喜八郎人形美術館（飯田市）を見学するなど、各地を巡りながら、大自然（特に木ですが）や、その土地の伝統や文化、住む人たちの思いなどに触れ、普段は感じない、空間的な拡がりではなくて、過去から現在への時間的、歴史的な命の連続性、何か目には見えない縁のような奥深いものを感じました。

また2回の特別MSを開催し各会長の体験報告をお聴きして大感動。本当に素晴らしい体験をさせていただきました。



編集後記



山形県倫理法人会
事務局 鈴木 博子

私が会報「最上川」の担当をさせて頂くようになって4年目になります。この仕事の役得は「入稿者の方の原稿を一番に拝見できる事」です。お忙しい中書いて頂いた原稿を取りまとめ、誤字脱字がないかチェックをし、いよいよ発行となる日は何度経験しても緊張しますが、頼りになる広報委員会の皆様のお陰で、号を増すごとに読み応えのある最上川になってきました。是非読んで感想などお聞かせ頂ければと思います。

ここで今回のMS川柳に習って私も一句「事務局の仕事はたくさん嬉しいな？」



URL
<http://www.yamagata-rinri.net/m/>

